

<第1学年　日本語評価基準>

単元名(○は時数)	ねらい	評価基準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉛筆の持ち方	正しい鉛筆の持ち方を知り、正しい持ち方で文字を整えて書こうとする意欲を高める。	鉛筆を正しく持ち、姿勢を整えて文字を書こうとしている。		
季節を楽しもう<1>春②	詩に使われている季節を感じことばをもとに、その季節の様子や季節を感じことばを味わう意欲を高める	季節を表す詩を読むことを通して、四季それぞれの良さや美しさを理解している。	詩を読んだり、季節のことについて話し合ったりして季節を感じることばを見つけようとしている。	季節を表す詩を読み、季節を感じことばを見つけている。
なぞなぞを楽しもう<1>①	伝統的な言葉遊びの一つであるなぞなぞを通して、日本に伝わることばや、遊びの楽しさを知る。	なぞなぞを作ったり、その答えの理由を考えたりすることができる。	なぞなぞの答えの理由を友達にも分かるように説明することができる。	なぞなぞを通して、日本に伝わることば遊びの楽しさを味わうことができる。
いろいろなものになりきってみよう<1>②	いろいろなものになりきるために、体の姿勢や動きを工夫しながら、表現の楽しさを味わうことができる。	いろいろものを体で表現する方法を考えることができる。	友達と相談し合いながら、表現の仕方について話し合うことができる。	
日本語の響きやリズムを楽しもう<1>俳句①	俳句を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	季節を表す言葉を話し合ったり、情景を想像したりしたことを思い浮かべて、読むことができる。	俳句に描かれた情景を想像し、季節を表すことばについて話し合うことができる。	繰り返し朗誦(読)することを通して日本語の響きやリズムに親しもうとしている。
一冊の本から 世田谷の民話を読んでみよう④	世田谷区の民話を読んだり、心に残った場面や文について考えることを通して、世田谷区の昔のようすや民話への関心を高める。	民話にふれ、地域飲むかしのようすや他の民話への興味・関心を高めている。	世田谷区の民話や日本各地に伝わる民話を読みおもしろさを見つけ、友達に紹介することができる。	世田谷区の民話を読んだり、心に残った場面や文について考えることを通して、民話への興味・関心を高めている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<2>漢詩①	漢詩を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	ことばの響きやリズムに親しみながら、漢詩を音読する楽しさを知ることができる。	漢詩に描かれた情景や想像したことをことばや絵に表現しようとしている。	繰り返し朗誦(読)することを通して日本語の響きやリズムに親しもうとしている。
季節を楽しもう<2>夏②	詩に使われている季節を感じことばをもとに、その季節の様子や四季の変化を味わう。	季節を表す詩を読むことを通して、四季それぞれの良さや美しさを理解している。	詩を読んだり、季節のことについて話し合ったりして季節を感じることばを見つけようとしている。	季節を表す詩を読み、季節を感じことばを見つけている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<3>短歌①	短歌を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	俳句でかかれたようすを想像しながら読むことができる。	短歌を読んで思ったことや考えたことを話し合い、短歌でかかれたようすを想像しようとする。	ことばの響きやリズムに親しみながら、短歌を音読する楽しさを知ることができる。

日本語の響きやリズムを楽しもう<4>詩③	詩を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	読み方を工夫して、詩を読むことができる。	詩に描かれた情景を想像し考えたことを話し合っている。	ことばの響きやリズムに親しみながら、詩を音読する楽しさを知ることができる。
季節を楽しもう<3>秋②	詩に使われている季節を感じることばをもとに、その季節の様子や四季の変化を味わう。	季節を表す詩を読むことを通して、四季それぞれの良さや美しさを理解している。	詩を読んだり、季節のことについて話し合ったりして季節を感じることばを見つけようとしている。	季節を表す詩を読み、季節を感じることばを見つけている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<5>短歌①	短歌を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	俳句でかかれたようすを想像しながら工夫して読むことができる。	短歌を読んで思ったことや考えたことを話し合い、オリジナルの短歌を作っている。	ことばの響きやリズムに親しみながら、短歌を音読する楽しさを知ることができる。
なぞなぞを楽しもう<2>④	伝統的な言葉遊びの一つであるなぞなぞを通して、日本に伝わることばや、遊びの楽しさを知る。	なぞなぞを作ったり、その答えの理由を考えたりすることができる。	なぞなぞをつくり、言葉や絵で表現することができる。	作った問題を出し合い、日本に伝わることば遊びの楽しさを味わうことができる。
日本語の響きやリズムを楽しもう<6>論語②	論語を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	論語のおおよその意味を知り、孔子と弟子たちの様子や孔子の思いを想像している。	孔子の思いを想像しながら朗誦(読)しようとしている。	繰り返し朗誦(読)することを通して日本語の響きやリズムに親しもうとしている。
日本語の響きやリズムを楽しもう<7>短歌①	短歌を読み、何度も繰り返し声に出して読むことを通して、ことばの響きやリズムに親しむ。	話し合ったことや考えたこと・思ったことを思い出して読むことができる。	短歌に描かれた情景を想像して思ったことや考えたことを話し合おうとしている。	ことばの響きやリズムに親しみながら、短歌を音読する楽しさを知ることができる。
季節を楽しもう<4>冬②	詩に使われている季節を感じることばをもとに、その季節の様子や四季の変化を味わう。	季節を表す詩を読むことを通して、四季それぞれの良さや美しさを理解している。	詩を読んだり、季節のことについて話し合ったりして季節を感じることばを見つけようとしている。	季節を表す詩を読み、季節を感じることばを見つけている。
いろいろなものになりきってみよう<2>③	いろいろなものになりきるために、体の姿勢や動きを工夫しながら、表現の楽しさを味わうことができる。	いろいろものを体で表現する方法を考えることができる。	友達と相談し合いながら、表現の仕方について話し合うことができる。	
季節を楽しもう<5>春夏秋冬②	春夏秋冬の季節を感じながら、海の様子を想像する。	季節を表す詩を読むことを通して、四季の違いを理解している。	詩を読んだり、季節のことについて話し合ったりして季節を感じることばを見つけようとしている。	季節を表す詩を読み、季節を感じることばを見つけている。
一年間の学習を振り返ろう①	1年間の学習を振り返り、学んだ作品の中から選んで、音読したり、暗唱したりすることができます。	1年間の学習を振り返り、学んだ作品の中から選んで、音読したり、暗唱したりする。	学んだ作品をていねいな字で書き写している。	